



学校だより

清瀬市立清瀬第五中学校

10月号

令和元年10月23日発行

【URL】 <http://www.kiyose.ed.jp/k019/>

合唱コンクールを終えて

校長 堀内 雅之

運動会と並ぶ二大行事の一つ合唱コンクールも盛大に終わりました。例年実施している所沢ミューズの改修工事のため、練馬文化センターの大ホールで実施いたしました。合唱コンクール当日はたくさんの保護者の皆様にご来場いただきました。誠にありがとうございました。また、地域の方々にもいらしていただきました。合唱コンクールでは全ての学級が素晴らしい歌声を披露してくれました。

今年度のスローガンは「百歌繚乱 ～歌声よ 空を揺るがし 地に響け～」。実行委員長の阿部由伸さんがプログラムのあいさつ文に書いているように、まさに各クラスが今日までの間、励まし合い、ぶつかり合いながら練習してきた成果を発揮し、全員で地や空を揺るがすような気持ちがこもった発表ができました。

地域の方のアンケートから

・まずは生徒さん方の落ち着いた態度に感心しました。楽音以外に余計な音が聞こえてこない、すごいことだと思いました。一年ごとの成長も歌に感じられました。女子生徒の皆さんの声がまっすぐでとても美しかったこと、変声期をはさんで声を出すこと自体大変な男子生徒さんの声が逞しくなっていく様子がとてもまぶしく感じられました。指揮者、伴奏者の方々がクラスを引っ張っていく様子、どれも本当にいきいきしていてすてきでした。言葉もしっかり伝わってきました。音楽を指導された先生のお力も感じました。



保護者の方のアンケートから

- ・学年が上がるごとに声量やハーモニーが良くなっていき来年が楽しみです。これまで各クラスが頑張ってきたことがよくわかります。
- ・聞いている生徒も静かに耳を傾け感心です。先生の話の時も話すことなく聞けて良かったと思います。
- ・五中のマナーの良さが素晴らしかったです。進行もしっかりしていて格好良かったです！感動しました！
- ・毎年楽しみにしています。やはり3年生の歌声は素晴らしいです。1年生が先輩の歌に感銘を受け、来年はもっともっと頑張ろうとする姿勢が代々受け継がれるのだと思います。この素晴らしい伝統をずっと引き継いでもらいたいです。
- ・去年初めて合唱コンクールを観て、会場も歌声も本格的でびっくりしたことを思い出します。去年は我が子の歌声でも聞きに行こうかと軽い気持ちで参加したのですが、今年は全学年しっかり観よう、聴こう、感じようという気持ちで来ました。チームそれぞれの持ち味、工夫なども一緒に楽しみたいと思います。
- ・3年生の「大地讃頌」良かったです。自由曲もそれぞれ詩も曲も良く、気持ちを込めて歌っていました。

他にもたくさんのアンケートをいただきました。
たくさんのお褒めのお言葉ありがとうございました。



生徒の活躍から

清瀬教育の日

ビブリオバトル

10月19日（土）13:30から 東京都立清瀬高等学校を会場とし、令和元年度「清瀬教育の日ビブリオバトル」が開催されました。

今年度、本校からは1年生 山上 琴子 さんが
『ビブリア古書堂の事件手帖 ～栞子さんと奇妙な客人たち～』
を紹介してくれました。

とても立派な発表でした。



道徳授業地区公開講座

今年度の「道徳授業地区公開講座」は、日本ユニセフ協会より講師をお招きし、子どもの貧困問題について講義と体験を含め授業をしていただき、授業後各教室にて担任の先生の指導のもと振り返りを行いました。生徒たちの振り返りの内容を一部ご紹介いたします。

- ・世界中の子どもがどのような環境におかれているのかを理解し、広めることで何か変わるのではないかなと思う。
- ・このことを周りの人にもっと知ってもらえるようにひろめること
- ・今、世界で何が起きているかを知り、より多くの人に伝える。
- ・6秒で1人が命を落としてしまう今を少しでも変えられるようにしたいです。
- ・今日の授業で知ったことと今の自分を比べ、現状を知り、考える心を育てる。
- ・無駄遣いをしたりせずに、節水や節約を生活の中でしていきたいです。また、あたりまえの事をできているのに感謝していきたいです。
- ・学校にいけない子どもたちの分もたくさん勉強して、大人になった時にまずしい生活をしている人の役に立つことをする。
- ・水道水の水を当たり前に見えることを当たり前だと思わず、自分たちがめぐまれた所にいること、したくてもできない勉強などができていることを忘れない。
- ・知らないことだらけだった。
- ・水かめの重さは持ってみてわかったので、助けてあげたい。
- ・無駄遣いしない事。水を大切にすること。
- ・世界の現状を知る事。知ることによって自分の価値観が変わってくるかもしれない。
- ・自分たちが恵まれた環境にあることを理解して感謝して生活する。
- ・日本も1964年までユニセフに支援されていたことを知らなかった。



（ネパールで使用されている
水がめを使つての水運び体験）
[約15Kgあるそうです]



講義の中のビデオでは
アイシャさんが1日8時間かけて
水を汲みに行っていました・・・



学校HP用QRコードをご利用ください

